



南が丘通信

教育目標

進んで学び深く考え、積極的に行動する人
思いやりの心を持ち、互いに協力する人
心身ともに健康で、創造力のある人

練馬区立南が丘中学校

校長 金 誠一郎

〒177-0035 練馬区南田中 4-8-23

TEL 03-3904-5782

URL <https://www.nerimatky.ed.jp/minamigaoka-j/>

令和 8 年 9 月 10 日発行



「自分を好きになる」ということ

校長 金 誠一郎

2 学期が始まりました。45 日間という長い夏休みを終え、充実した日々の中で一回り成長した生徒たちが学校に戻ってきました。教室には再び笑顔と活気があふれ、新たな学校生活が始まっています。

夏休みに入る前のことになりますが、1 学期末、2 年生のフロアの壁に、素敵な掲示物が貼られていました。それは、「〇〇さんのここがイイ!」として、友達が「その人の良いところ」を書いたメッセージでした。

★いつもニコニコして話しやすい
★何事にも一生懸命
★相談にのったとき寄り添ってくれる
★変化にすぐ気付いてくれる
★周りをしっかり見て行動

★どんな人にもありがとうと言える
★わからないところを丁寧に教えてくれる
★お母さんのような安心感
★一緒に遊ぶと楽しい
★困ったときすぐ手伝ってくれる

★ポジティブでクラスを明るく元気にしてくれる
★授業中に積極的に発言している
★何事にも全力で取り組んでいる
★安心感がある

★〇〇の演奏が上手
★最後までやり遂げる強い意志と根性がある
★穏やかで温厚、安心できる
★積極性と責任感がある
★ユーモアのセンスと優しさを見せてくれる

そこに足を止め、その言葉から、一人一人が生き生きと学校生活を送っている様子に思いを巡らせる時間は、何とも言えない豊かな気持ちになるものでした。どの言葉にも、その人をよく見ているからこそ書ける温かさがあります。そこは、互いの良さを認め合う言葉にあふれた、明るくエネルギーに満ちた空間でした。そして何より印象的だったのは、「そんなふうに見てもらえていたんだ」と、書かれた言葉を嬉しそうに読んでいる生徒たちの姿でした。

自分の良さは、自分ではなかなか気付けないものです。だからこそ、誰かから「あなたにはこんな素敵なおところがあるよ」と伝えてもらうことには、大きな意味があります。自分では当たり前だと思っていたことが、誰かにとっては魅力であり、尊敬できる長所だったと知る。それは、自分自身を新しく見つめ直すきっかけになります。誰かに自分の良さを認めてもらうことは、自信につながります。そして、その積み重ねが、「自分には価値がある」と思える自己肯定感を育てていくのだと思います。自己肯定感とは、何でもできると思うことではありません。できることも苦手なことも含めて、「これが自分なんだ」と受け入れ、自分自身を大切に思える気持ちです。

私は、生徒たちに「自分を好きになれる人」に育ってほしいと願っています。もちろん、多くの人にとって、自分を好きになることは簡単ではないかもしれませんが、しかし、周りの人の優しさや温かな言葉に支えられ、自分の良さを少しずつ知っていくことで、その気持ちは育まれていくのだと思います。

そしてもう一つ、大切にしてほしいことがあります。それは、自分の良さを見つけてもらうだけでなく、自分も周りの人の良さに気付き、それを言葉にして伝えることです。「ありがとう」「すごいね」「助かったよ」という何気ない一言が、誰かの自信となり、その人の心を温かくします。その優しさは、やがて学校全体へと広がり、お互いを認め合える温かな校風をつくっていくはずですよ。

この夏、高校野球甲子園大会を見ていて、心に残った言葉がありました。選手宣誓の際に代表生徒が語った「高校球児は、いい顔で野球をしよう」という言葉です。その一球に集中する真剣な眼差し、笑顔、涙…。試合中のどの場面を切り取っても、選手たちの「いい顔」で溢れ、輝いて見えました。

同じように、学校生活の様々な場面で、南が丘中の生徒たちの「いい顔」を見たいと願っています。

真剣な眼差しも、やり遂げた笑顔も、うまくいかなかったときの悔し涙も……。そのすべてが、一生懸命に取り組んだ大切な証です。そして、「いい顔」をしている瞬間こそが、自分自身を好きになっていく過程でもあるのだと思います。

一人一人が、自分の良さを知り、友達の良さも認められる学校。「自分も好き、友達も好き」と思える学校。そして、誰もが自分らしい「いい顔」で学校生活を送れる学校。そんな南が丘中を、みんなでつくっていききたいです。

2 学期も、生徒たちの「いい顔」にたくさん出会えることを楽しみにしています。

7月22日（水）～24日（金）の3日間、長野県「武石少年自然の家」において1年生の「イングリッシュキャンプ」が実施されました。「全部英語で生活…できるかな?」「どんなアクティビティがあるの?」英語の不安と仲間と過ごす楽しみを膨らませながら現地に到着すると、ネイティブ講師の先生方の熱烈な歓迎が待っていました。グループごとの「ネームトス」から始まり、講師の先生の自己紹介やダンスの振りつけと次々にプログラムが進行し、始めはおそろおそろと取り組むうち



1日目夜は体育館で「学年レク」2日目夜は「ダンスパフォーマンス大会」最終日は各グループの講師出身国をテーマに「英語によるプレゼンテーション」と、英語力の向上だけでなく、集団の中で自らの力を生かしていく学びを全身で吸収することができました。これからの成長につながっていくことが大いに期待されます。

10月24日(土)9時30分～
避難拠点としての防災訓練が行われます。地域の方は参加できますのでふるってご参加ください。



定期考査②(9/24木・25金)を控え、各学年では「家庭学習計画」の取組みも始まりました。「学びの秋」と謳われるこの季節は天候も静まり、学習の集中力や吸収力が高まるとされています。この機会を自分の秋の成果へつなげていきましょう。



10月には、昨年、感染症流行のため見合せとなった「文化発表会」が10日に開催されます。プログラム内容は「E組発表・各学年合唱コンクール・海外派遣発表・吹奏楽部発表」など、生徒の実行委員会を中心に、各部署・各学年・各クラスで準備が始まっています。「他学年の合唱も聴きたい」という保護者の皆さまのご要望について、今年度は「当該学年優先入れ替え制」を試行致します。該当学年の保護者を優先に入場し、その後、該当学年以外のご希望の保護者に入場頂きます。スペースに限りがあるため、併せて「集会室パブリックビューイング（同時動画上映）」も設置予定です。混乱を避けるため「来校用名札のタグの色」で入場整理を行ない、各学年の部活动结束后、一旦すべての保護者の方にご退場いただく形となります。本校体育館内で、安全に子供達の学びを最大限確保するための形ですので、保護者の皆さまにはご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。なお、「Formsによる参観申込み（「各家庭2名参加」にご協力お願いします）」を実施します。詳細については、後日発行の「文化発表会のお知らせ」をお待ちください。